

# 平成30年度指定管理者運営状況検証シート

|      |                    |
|------|--------------------|
| 県所管課 | 保健福祉部生きがい推進局子育て支援課 |
|------|--------------------|

平成31年3月31日現在


## 1. 施設名等

|                |  |                 |   |
|----------------|--|-----------------|---|
| 施設名<br>(設置年月日) | 愛媛県立愛媛母子生活支援センター<br>(昭和23年9月3日(平成10年4月1日現在地に改築移転)) | 所在地<br>電話<br>HP | 松山市道後今市12番30号<br>089-925-2678<br>http://www.ehime-swc.or.jp/shisetsu/3/index.html |
|----------------|--|-----------------|---|

## 2. 指定管理者

|        |                   |      |                        |       |
|--------|-------------------|------|------------------------|-------|
| 指定管理者名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉事業団 | 指定期間 | 平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 | (5年間) |
|--------|-------------------|------|------------------------|-------|

## 3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

|               |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
|---------------|---|--|---------|---------------|------------|-------------|-----------|------------|----------|
| 設置目的          | 配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて保護するとともに、自立のためにその生活を支援することを目的とする。  | 施設の外観<br> |         |               |            |             |           |            |          |
| 施設内容          | 居室21室(うち、バリアフリー室1室・緊急保護室1室)<br>集会学習室・カウンセリング室・事務室   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 指定管理者が行う業務    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所による保護</li> <li>・就労、家庭生活及び児童の養育に関する相談、助言等の生活指導</li> <li>・自立の促進のために必要な生活の支援</li> <li>・その他必要な業務</li> </ul>   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 施設の管理体制       | (福)愛媛県社会福祉事業団<br>愛媛県立愛媛母子生活支援センター <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>所長(正規1)</td></tr> <tr><td>母子支援員(正規2、嘱託)</td></tr> <tr><td>少年指導員(正規1)</td></tr> <tr><td>個別対応職員(嘱託1)</td></tr> <tr><td>嘱託医(非常勤2)</td></tr> <tr><td>心理療法員(嘱託1)</td></tr> <tr><td>舎監(非常勤2)</td></tr> </table> |  | 所長(正規1) | 母子支援員(正規2、嘱託) | 少年指導員(正規1) | 個別対応職員(嘱託1) | 嘱託医(非常勤2) | 心理療法員(嘱託1) | 舎監(非常勤2) |
| 所長(正規1)       |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 母子支援員(正規2、嘱託) |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 少年指導員(正規1)    |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 個別対応職員(嘱託1)   |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 嘱託医(非常勤2)     |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 心理療法員(嘱託1)    |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 舎監(非常勤2)      |   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 利用料金等         | 利用料金制 <input type="checkbox"/> 採用している <input checked="" type="checkbox"/> 採用していない<br>前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし<br>(変更ありの場合、その内容)<br>0   |  |         |               |            |             |           |            |          |
| 開館日・開館時間      | 年中無休(24時間体制)  |  |         |               |            |             |           |            |          |

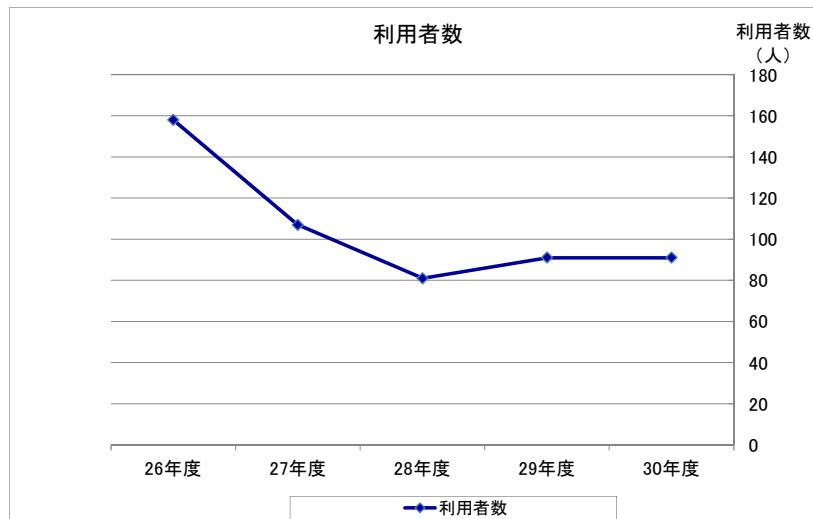
## 4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

| 年度       | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   | 30年度   | 31年度   |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 県委託料(千円) | 59,045 | 58,413 | 59,063 | 48,552 | 48,665 | 41,608 |

## 5. 施設の利用状況

### (1) 施設の利用者数と利用料金収入

| 年度         | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 対前年度増減率 |
|------------|------|------|------|------|------|---------|
| 利用者数(世帯)   | 158  | 107  | 81   | 91   | 91   | 0.0%    |
| 利用料金収入(千円) | -    | -    | -    | -    | -    | -       |



### (2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)

(利用料金収入)

## 6. サービスの質向上に向けた取組み

### ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は平成30年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

| 平成30年度の内容   | 平成31年度の内容(予定含む)   |
|---|---|
| <p>○入所世帯の多くに心理的支援が必要であったことから、年間を通してカウンセリングを実施し、母親に対する育児支援及び精神的サポートを行った。</p> <p>○児童活動及び各種教室等を月1回ずつ程度開催し、子どもの支援を行うとともに入所者の生活を豊かにするため、内容充実を図った。</p> <p>☆集会室天井の雨漏りについては、屋上防水修繕工事を実施し、状況が改善されえた。</p> <p>☆過年度よち南棟1階に発生していたシロアリについては、引き続き防虫駆除及び定期点検を実施した。</p> <p>☆居室内の経年劣化による汚れや一部破損等については、順次改装等を実施した。</p> | <p>○様々な状況の中で入所してくる利用者に対し、個々の状態を確認しながら、適切な支援が行えるよう関係機関や専門機関と緊密な連携を図るとともに、自立に向けた支援を行う。</p> <p>○職員のスキルアップのため、各種研修会に積極的に参加する。</p> <p>○定例会及び子ども会等で定期的に意見聴取するほか、年1回、アンケート方式の利用者調査を実施する。</p> |

### イ) 利用者からの声への対応状況(平成30年度)

| 利用者からの評価や苦情・要望の主な内容 | 利用者からの苦情・要望への主な対応状況 |
|---------------------|---------------------|
| 特になし                | 特になし                |

## 7. 平成30年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

| 指定管理者の自己検証   | 県の施設所管課の確認・検証意見  |
|--|--|
| <p>近年の傾向としてDVからの避難世帯が多く、安全確保及び離婚手続き等のため関係機関との更なる連携が必要であった。退所世帯については、離婚成立に伴い住居を確保できたことや、親族から退所後の支援が見込めたことによるものであった。</p> <p>なお、精神的不安を抱える母子は増加傾向にあり、生活面での支援に止まらず、心理療法面での関わりが強く求められることから、職員間の連携や外部機関も含めたチームでの支援がますます重要となっている。</p> <p>また、関係機関へのPR活動により、福祉事務所等からの問い合わせは増加傾向であり、ペット飼育不可や多子世帯、母親の疾病障がい等のため母子での生活が困難といった理由で入所に至らないケースはあるが、引き続き福祉事務所を始め、各関係機関への施設認知度を高める必要がある。</p> | <p>事業は概ね良好に遂行されていると評価できる。</p> <p>県内の母子生活支援施設では、一部を除き、DV被害の母子世帯についての受入は困難であることから、当センターが全県域をカバーしている。母子保護や生活支援のみならず、DV被害に係る入居世帯の生活再建を図るといった重要な役割も果たしており、様々な問題を抱えた入所者に対し適切な支援ができるよう、各機関と連携を図りながら自立へ向けての支援を行っている。また、心理的カウンセリングの必要な世帯に対しては、通常生活へ向け、まず精神面を安定させることを第一とし、積極的に関わっている。</p> <p>今後とも様々なケースに適切に対応できるよう、全職員のレベルアップを図り、併せて退所後のアフターケアの体制作り等関係機関との連携強化に引き続き努めて欲しい。</p> |

## 8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

|  |
|--|
| <p>指定管理者制度の導入による効果としては、長年の経験から各機関と連携を最大限に生かし、個々の入所者の状況に応じた様々な自立支援サービスの実施ができている。また、管理運営にあたっては、経費削減や民間のノウハウによる効率的な運用が図れている。今後も、入所者の抱える複雑かつ様々な問題に対応するための更なる専門的なスキルが求められることから、職員の高度な知識や技術力の確保が必要である。</p> |
|--|